第十九回　北海道 小・中・高生短歌コンテスト　二次審査通過作品一覧（通過248首中、入選以上を除く160首）

小学1～3年生の部

1	定山けい歩きまわったま夏の日帰りに気づくやぶかのかゆみ	札幌市立栄南小学校	3年	小川　夕輝
2	原っぱにひびきわたるよ虫の声ツクツクボウシのオーケストラだ	札幌市立札苗北小学校	2年	加納　光莉
3	なんだろう？！しゅん見えたくろいかげ心わくわく大きな魚	札幌市立資生館小学校	2年	安田　春斗
4	ハワイとうぼくらとおよぐイルカたちうつくしいうみがめのないうみ	札幌市立二条小学校	1年	芦谷　壱成
5	まどあけて聞くコンサートピリリリリ今夜の主役はエンマコオロギ	札幌市立白楊小学校	3年	駒井　翔太
6	休みなく毎朝毎夜ピアノひく大好きだからうまくなりたい	札幌市立平岡南小学校	3年	工藤　未奈
7	あわが出るていねプールは楽しいよいるかのようにながれにのって	札幌市立円山小学校	2年	高草木琴葉
8	果汁じゅわにころにしみるこの味はしんじゅのようなきれいなライチ	札幌市立緑丘小学校	3年	大神信次郎
9	よう虫が、毎日そだつうれしいな。元気にそだてぼくのよう虫	苫小牧市立清水小学校	3年	黄木　碧煌
10	はたけでねっぱいとれたみどりいろすんごくすごくおいしいやさい	苫小牧市立清水小学校	3年	武知　　詩
11	きょうりゅうショートリケラトプスつよいけどティラノサウルスもっと強いぞ	七飯町立七重小学校	3年	中尾　瞭杜
12	アゲハの子はやく大人になってよとよびかけてみたたのしみだから	別海町立西春別小学校	3年	岩井　優真
13	すべりだいウオータースライダーみたいだなあっというまに下についたよ	別海町立西春別小学校	3年	中西乃々華

小学4～6年生の部

14	水族館迫力があるイルカショー高くとびあがるトビウオのよう	旭川市立新富小学校	5年	伊藤　結羽
15	気合いれ打席に入る情熱をバットにこめてレフト前ヒット	旭川市立新富小学校	5年	金谷　零也
16	久々のスタメン出場初打席ライト前ヒットつきあげた拳	旭川市立新富小学校	5年	菅原　詩太
17	サッカーの試合に行って日焼けしてひりひりいたいシャワーの時間	旭川市立新富小学校	5年	本間　咲菜
18	海に行き砂から出てきたなんだこれ現われたのは小さなヒラメ	旭川市立新富小学校	5年	松本莉緒奈
19	やっとついた地球岬の展望台上から見えるー面の海	旭川市立新富小学校	5年	安井　結菜
20	あたたかい手植えで入った水の中足湯みたいで気分も上がる	北広島市立西の里小学校	6年	坂本　真悠
21	朝起きて庭に育てた書の花赤く満開にきらきら咲いてた	釧路町立知方学小学校	6年	本多　春月
22	吹きガラス意外と上手に出来上がり自由研究夏の思い出	札幌市立北九条小学校	4年	羽田　直生
23	しゃぼん玉色とりどりのライト照る夜に浮かんでぱちんと割れる	札幌市立北九条小学校	4年	原田　恵茉
24	原宿の竹下通り歩いたよ私は住めない東京のまち	札幌市立北九条小学校	4年	久田　梨乃
25	妹とかたづけサボったバーベキュー怒られたのはなぜかぼくだけ	札幌市立北九条小学校	5年	北川　龍輝
26	積丹の船からパンをかげたら猛スピードでカモメが突撃	札幌市立札苗緑小学校	6年	小野　睦季
27	夏の日にベランダに来たカミキリ虫二日泊って三日目いない	札幌市立札苗緑小学校	6年	今　　結那
28	動物園みんな日かげでねているよ活発なのはキリンだけだよ	札幌市立札苗緑小学校	6年	佐々　綾希
29	歴史あるおたるのまちになりひびく暑さふきとぶふうりんの音	札幌市立札苗緑小学校	6年	佐野　琉和
30	ボウリング決まった時のそう快感次来る時は目指せターキー	札幌市立札苗緑小学校	6年	中野　航佑
31	キラキラと夜空に光る花火たち夏の終わりの足元照らす	札幌市立札苗緑小学校	6年	渡邊　愛夏
32	山々をきれいに染めるもみじの葉落ち葉に変わり冬が近づく	札幌市立三角山小学校	6年	斉木　綾音
33	旬のもの秋がおいしいさつまいもしゃべる車を追いかけ走る	札幌市立三角山小学校	6年	八戸　翔生
34	落ち着いて粘りに粘って振り抜いた勝敗を決めるサヨナラホームラン	札幌市立三角山小学校	6年	松尾　龍樹
35	秋の空あおいでみれば天藍の高い空と鵠がみえる	札幌市立三角山小学校	6年	吉野　　聖
36	見上げれば流星群が流れてる夜空に願い手がもうとどく	札幌市立新光小学校	5年	岡田　咲楽
37	寒い朝黄色い葉っぱおりていく見つめるわたしとてんしゃ道で	札幌市立新札幌わかば小学校	5年	日野田響香
38	たくさんの歴史を学ぶ貝塚でもっと知りたい縄文時代	札幌市立新札幌わかば小学校	6年	日端　瑠奏
39	風と波アルパカうきわゆれるけどバランス勝負手ぶらで乗る	札幌市立西園小学校	4年	形川　椿季
40	夏休みの最後に行った天狗山ロープウェイに思い出乗せて	札幌市立屯田西小学校	6年	山下　芙子
41	しっこうでキラキラ光るガラス石バケツいっぱい思い出いっぱい	札幌市立西岡小学校	4年	富岡　昊平
42	森の中セミやアブたちの声がする木の葉のかげで秘密の合唱	札幌市立西岡小学校	6年	相沢　莉夢

43	ホームラン入れば気持ちい音がするベースを回りホームに到達	札幌市立西岡小学校	6年	佐々木颯希
44	ふうりんがちりんちりんとのどならす　すずしいでしょ」とさわやかな声	札幌市立西岡小学校	6年	用名　心春
45	思い出は目覚めたあとにツッコまれ寝言にクスクス　ポテトは」で」	札幌市立八軒小学校	6年	熊谷　悠
46	キャンプ場ががやく川でマスを釣る自分でさばく味は最高	札幌市立発寒西小学校	5年	小山田　創
47	楽しみは夏の醍醐味川遊び魚つかまえ名を付ける時	札幌市立伏古北小学校	6年	高橋　和花
48	おぼん中たいくつすぎて家を出るペダルをこぐたび増えるさびしさ	札幌市立真駒内桜山小学校	4年	舘田　悠司
49	なつやすみむしつかまえるカブトムシげんきいっぱいわたしのペット	札幌市立みどり小学校	4年	吉田　航大
50	おい時間自分勝手に先行くなぼくの都合はおかまいなしだ	札幌市立山の手南小学校	6年	水林　麟
51	サクラマスたきをバシャバシャ水かかる大変そうだおうえんするよ	標津町立標津小学校	4年	稗貫心優華
52	太陽がぼくの心を焦らせるしゃりしゃり甘い雪山溶かす	田中学園立命館慶祥小学校	5年	石尾　春磨
53	夏休みうみにいってみずあそびすなのおしろもつくりたいな	千歳市立みどり台小学校	4年	中尾真優斗
54	たのしみは生き物たちのすがた見て新たな発見探し出すとき	苫小牧市立清水小学校	6年	川﨑　嵩仁
55	暑い夏あみどにせみがとまったよじりじりないてみんなびっくり	函館市立えさん小学校	4年	田中彩友美
56	夏の夜虫たちみんな暑いよと耳をすませばコソコソ言ってる	函館市立北日吉小学校	4年	伊藤　瑚夏
57	みかん色ひらひらゆれる更紗もよう見てもあきないかわいい金魚	北海道教育大学附属札幌小学校	4年	石塚　立夏
58	学校で友達とけんかしちゃったよ休み時間に謝れるかな	増毛町立増毛小学校	5年	長谷川　來
59	輪になって笑顔集まるぼんおどりたいこのひびきで去る夏の雨	留萌市立緑丘小学校	4年	村松　碧葉

中学生の部

60	ペダルふみ友と向かった神楽町待っていたのはかがやく夕日	旭川市立中央中学校	2年	大嶋　健徳
61	帰り道友と喧嘩し雨が降り傘を差さずに帰ったあの日	旭川市立中央中学校	2年	笹　柚花
62	本番が一番うまいとほめられたピアノ演奏悔いは残らず	石狩市立花川南中学校	2年	西守　彩乃
63	夕暮れに薄く広がるわたあめに夕日隠れて赤色消える	雨竜町立雨竜中学校	2年	高山侑里奈
64	下駄箱のベージュの手紙なんだろな放課後静か伝えられる詩	恵庭市立恵み野中学校	2年	住吉　琴羽
65	地引網海風感じ砂浜で大漁の幸心もおどる	江別市立大麻東中学校	2年	佐澤　亜優
66	雨の音教室に入るすずしい風私の好きな夏の雨の日	江別市立大麻東中学校	2年	竹花妃翔鈴
67	瑞巌寺振り返るなら参道の門より覗く松島の海	江別市立大麻東中学校	3年	西村　虎流
68	夕暮れに君と私をほのかに照らすこれが最後の線香花火	江別市立中央中学校	2年	村上　希海
69	暗い夜踊るカーテンに誘われて外を覗くと満天の星	小樽市立桜町中学校	2年	丹野李乃愛
70	ひっそりと群青なりたる青い池ゆるぎなき青ゆらめく心	帯広市立南町中学校	2年	阿佐　崇良
71	おそろいのTシャツを着てたくさんの思い出つくる球技大会	帯広市立南町中学校	2年	砂田あず美
72	山々に囲まれている洞爺湖のほとりで読書至福のひととき	北広島市立東部中学校	2年	御囲　遼生
73	澄んだ青海の香りで涼し気な夏を感じる積丹ブルー	北広島市立東部中学校	2年	畑野　紗和
74	アイヌコタン神に感謝し歩みつつ響き渡るはムックリの音	釧路市立共栄中学校	2年	下浅　心
75	夜(よ)を見上げ咲き乱れるは大輪の　夏が終わる」と哀しき言づて	釧路市立青陵中学校	3年	佐藤　礼
76	梅雨の時期薄暗い中紫陽花がとても鮮やかに一際目立つ	栗山町立栗山中学校	2年	沼田　雪那
77	久々に会った貴方は大人びて私の知らぬ笑顔を見せる	黒松内町立黒松内中学校	2年	田村　いろ
78	七歳でショパンがつくったポロネーズ十四の私にまだ難しい	札幌光星中学校	2年	伊藤くるみ
79	ペダル漕ぎ友と一緒に駆け抜けた桜が咲いた思い出の道	札幌市立青葉中学校	2年	二森　桃香
80	飛行機のかすかに響くエンジンの音と一緒に夏風来たる	札幌市立厚別南中学校	1年	伊藤　優那
81	初夏の地でアスレチックを初体験芽生え始めた仲間の絆	札幌市立厚別南中学校	2年	海沼　夏月
82	合唱コン緊張抑えて歌い出す練習の日々この瞬間(とき)のため	札幌市立北野台中学校	1年	西村　結衣
83	全国へ高まる鼓動静めつつスタート構える第四レーン	札幌市立光陽中学校	2年	成田　光来
84	逆さまの入道雲と夏休み畳の上で風鈴を聞く	札幌市立栄町中学校	2年	上田　理子
85	重い足どり電灯一つ影一つ泥服てらす部活の帰り	札幌市立真栄中学校	1年	江口　紘生
86	風鈴とねこの鳴き声待っている祖母の家へと今年も帰省	札幌市立新川中学校	2年	佐藤　羽音
87	怪談で肝を冷やしたあとの夜なんか隙間を気にしてしまう	札幌市立中央中学校	2年	植田　早咲
88	夏の夜クワガタ求め森探すやっと見つけたローソン前で	札幌市立手稲東中学校	2年	亀谷　健太

89	帰り路イヤホンもつてちよつとだけ夕陽を無音で聴いてる明日	札幌市立東白石中学校	2年	鈴木　睦己
90	暑過ぎて高くなる音チューニング外の気温も調節したい	札幌市立真駒内中学校	1年	一條　蓮
91	真駒内花火大会今回も窓から見えるにぎわい共に	札幌市立真駒内中学校	1年	高山　想生
92	暇潰しフラつと寄つた無人駅にぎわう昔にタイムスリップ	札幌市立真駒内中学校	1年	永井　颯人
93	百千の星降りそそぐ空の下宗谷の間に雪しのしぶく	札幌市立南が丘中学校	2年	鈴木　悠賀
94	教科書の種類が増えて今までと重みの違い感じる日々に	札幌市立明園中学校	1年	光山颯一郎
95	奇遇かな遠く離れた網走でクラスメートと目が合う奇跡	札幌市立もみじ台中学校	3年	伊達　蒼介
96	炎天下緑の中でラフティングざぶんと鳴く水笑う羊蹄	市立札幌開成中等教育学校	1年	猪師　めい
97	あの人と一緒にいたから？風邪だから？熱の理由がわからないまま	市立札幌開成中等教育学校	2年	高橋　佑奈
98	遠方へ行ってしまつた我が友よ席を見るたび侘しく思う	滝川市立明苑中学校	2年	浦田　結
99	一瞬で心をつかめ響かせろ重なる音色夏の戦い	滝川市立明苑中学校	2年	成田このん
100	指揮棒を振ると同時に響き渡る豊かな音色一つにしたい	滝川市立明苑中学校	2年	濱田　美紗
101	気づいてる日々読み返すメッセージ本当の声聴かせてよほら	伊達市立伊達中学校	2年	秋元　颯太
102	いつからか母に怒られ腹立てる変わる自分にまた腹立てる	苫小牧市立明野中学校	1年	前原みのり
103	暑すぎるエアコン前で横になり気づけば猫も隣で涼む	苫小牧市立明野中学校	2年	竿田　紗良
104	友達の話についていけなくてただただ聞いて笑顔を作る	苫小牧市立明野中学校	2年	佐藤　愛夢
105	優しいな綺麗な空を見るときは僕の心は雨でいっぱい	苫小牧市立光洋中学校	2年	高田　純菜
106	失って声なき今も胸中に温もり残る祖父母の住まい	藤女子中学校	3年	増田あおい
107	さよならと枝に別れを告げる葉に秋の終わりを感じる私	北海道教育大学附属旭川中学校	2年	鎌田　愛莉
108	プリキュアになつたつもりの妹は実は家族のプリキュアなのだ	北海道教育大学附属旭川中学校	2年	權　純吉
109	幸せは上より下に落ちていることに気付いた朝明けの四葉	北海道教育大学附属旭川中学校	2年	宗形　華苗
110	引き潮の時に見つけた貝殻を君は今でも持つてくれてる	北海道自由が丘学園月寒スクール	2年	山田　晴子
111	暑い夏試合で負けぬ気合入れ先輩との夏終わりたくない	室蘭市立桜蘭中学校	2年	梅田　悠汰
112	夏祭り屋台で買つたりんごあめきらきら映る君との思い出	室蘭市立桜蘭中学校	2年	外崎　可藍
113	体育で砂ぼこりまうグラウンド窓から見えるあの子の背中	室蘭市立桜蘭中学校	2年	藤本麻由佳
114	夏の朝外を歩けばさわがしく心が弾む祭りのにおい	室蘭市立桜蘭中学校	2年	星　美音
115	頬伝う涙拭つてポップコーンスクリーン流れ増しゆく塩味	立命館慶祥中学校	3年	宮川　優希
116	夢だから推しと恋愛してしまえ魔法がぜんぶ消えちやうまえに	和寒町立和寒中学校	2年	荒木紅怜羽
117	あと一年一緒にいれる時間だけ笑顔でいたい十四の夏	和寒町立和寒中学校	2年	今野　陽菜

高校生の部

118	雨雲がワクワク顔を曇らせて父子の背中丸みを帯びる	旭川実業高等学校	1年	高橋　依礼
119	人助け謝辞は無くともとくはあり鼻唄気分で塾へと駆ける	札幌光星高等学校	2年	岡本　佳晃
120	沢歩き化石探して夏の山不易の川が足を冷やして	市立札幌開成中等教育学校	4年	山下　明莉
121	灼熱の補講終わりの帰り道友とシェアするコンビニアイス	東海大学付属札幌高等学校	3年	増田麟太郎
122	バレー部で先輩方と一年生和気あいあいと高め合っていく	北海道旭川工業高等学校	1年	松山　隼空
123	新聞局アポを忘れた後輩に頭悩ます局長のオレ	北海道旭川工業高等学校	3年	佐々木晃成
124	天の川君を想うよいつまでも叶うことなき恋物語	北海道旭川工業高等学校	3年	柴垣　陸
125	からっぽの僕の器を満たすのは短く青い春かもしれない	北海道旭川工業高等学校	3年	白井　颯人
126	読書して話の中を旅をするページをめくる夜の静けさ	北海道旭川工業高等学校	3年	中村　凱世
127	コート上飛び交うシャトル光る汗仲間と共に勝利を目指す	北海道旭川工業高等学校	3年	松浦　知輝
128	文化祭口実として残っていたあの日の放課後君といるため	北海道恵庭北高等学校	3年	乾　真緒
129	夏の夜きれいな夜空星光る心安らぐプラネタリウム	北海道恵庭北高等学校	3年	古田　祥也
130	いつまでも輝く夜空見ていたい止まらぬ時間なごり惜しいな	北海道小樽高等支援学校	3年	中野　悠裡
131	厚着して家族で囲む手持花火まだまだ来ない猿払の夏	北海道小樽水産高等学校	1年	阿部　倖盛
132	部屋中が東雲色に染め上がる窓を開ければ七月の風	北海道小樽水産高等学校	1年	小栗　聖名
133	緊張だ四時間だつた初バイト手順覚えてつぎのステップ	北海道小樽水産高等学校	1年	加茂　千秋
134	この人生正解はない大口で食らつてやつたよ不正解ごと	北海道小樽水産高等学校	1年	高橋虹乃歌

135	同じ海いつもの小樽友がいるただそれだけで景色が変わる	北海道小樽水産高等学校	1年	南雲　天翔
136	槍握り六十目指し猛特訓歩幅をあわせて空に突き刺す	北海道小樽水産高等学校	1年	畠山　惇
137	十勝まで自転車漕いだ夏休みてん菜の甘い香りただよう	北海道小樽水産高等学校	1年	矢崎　琉輝
138	太陽の力をいっぱい吸い込んで見下ろしてくる真っ赤なトマト	北海道小樽水産高等学校	3年	小畑　恋歌
139	懐かしき人のにぎわい感じつつ一年ぶりの潮（うしお）のかおり	北海道小樽水産高等学校	3年	橋岡　海友
140	寺参り上手になったと褒められて親鸞様の正信偈（しょうしんげ）読む	北海道小樽水産高等学校	3年	橋本　遼人
141	弓を引き心と的がつながればまっすぐ飛んで夢に届くよ。	北海道釧路工業高等学校	1年	早崎　献心
142	天高くアーチを描く白球に歓声が湧く夏の甲子園	北海道釧路工業高等学校	2年	青木　翔永
143	蝉の声響く青空眩しすぎ君との夏が永遠ならば	北海道釧路工業高等学校	2年	上田　逢郎
144	夜の海君と二人で手が触れて思わず溢れる炭酸と好き	北海道釧路湖陵高等学校（定時制）	4年	尾形　静月
145	ブラウンのボディが光る謎の虫私のとこへ来るのはやめて	北海道釧路湖陵高等学校（定時制）	4年	真嶋結姫乃
146	音に乗せ痛み楽しさ書き出して聴衆へ舞え音符の手紙	北海道札幌西高等学校	2年	林　秀一郎
147	蝦夷富士で汗水垂らしひたすらに吐く息白く山頂目指す	北海道札幌南高等学校	1年	大塚　千秋
148	トタン屋根雨といっしょに歌いだす夜もまわってすいーとらぱい	北海道福島商業高等学校	3年	石岡　優
149	部活動飛び交う羽に夢描き汗と笑顔で夏の日過ごす	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	1年	板倉　梨恋
150	青空を切り裂くようなホームラン甲子園へと描く曲線	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	1年	下栃棚　浬
151	あつい夏みたい景色はその先にぐらりとゆがむその目の先に	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	1年	山岸　知代
152	今年からエアコン設置我が家には涼しい中で見る甲子園	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	2年	小塚　沙綾
153	スケボーで悲願の二連覇すごかった深夜も熱闘パリオリンピック	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	2年	佐藤蓮太朗
154	甲子園今年も始まる暑い夏気持ちを一つに突き進んでく	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	2年	下口　智哉
155	練習試合もらったチャンス活かすため気合いをいれて打席に向かう	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	2年	藤田　匡治
156	付き合ったその一言に時止まる喜ぶ君に渡す夕顔	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	小倉　孝旺
157	バスケット仲間と共に打ち込んだ高校最後寂しくなるね	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	神原　愛子
158	思いつきみんなを集め旅に出る海辺に並ぶ青春の影	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	竹田莉々花
159	青い海素足の季節水しぶき波打ち際で君の手を取る	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	畠山　真緒
160	ふと見れば壁よじ登るコクワガタペンを投げ置きにやりと笑う	立命館慶祥高等学校	2年	稲村　湊